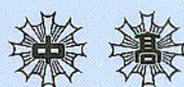


**守ろう、伝えよう、百余年の伝統!**  
**北陵健児の心・いのち・力・誇りを永遠に!**



# 同窓会報

平成18年度春季号



発行 宮城県仙台第二高等学校  
 同窓会事務局  
 仙台市青葉区川内瀬橋通一  
 〇二二—一五六五（直通）  
 印刷 創文印刷出版株式会社  
 仙台市青葉区春日町八番三四号

## 平成18年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成18年7月1日（土）総会17時 懇親会18時（受付時間は16：30～）
2. 場 所：ホテルメトロポリタン仙台（仙台駅前）4階 千代の間
3. 懇親会費：6,000円（予定）
4. 申込締切：6月22日（木）  
 ★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。  
 ★出席申込は、下記の申込先に、FAX又は電話でお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内瀬橋通1  
 仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686
6. 当 番 回 期：高17、29、30、41、42回

この回期の方々は常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

★なお、当日は、本号を御持参下さい。

同期の方、お誘い合わせの上、  
ご参加下さい。

# 次代を担う日本人として成長を

(四月十日入学式挨拶より)

仙台三高同窓会会長

西澤潤一

皆さん、おめでとう。それから、ご父兄の方々はじめ、いろいろ教育にあたられた方々が今まで我が子に情熱を注いでこられた結果が報われたわけでありまして、さぞ、喜んでおられると思っております。しかし残念なことに人生は一回しかありません。今日、入学した諸君が今日から明日から何をするかということは、皆さんのこれからの一生に大きな影響が出てくるわけですから今度は改めてやろうなんと言いましたも、それは、あくまでも二度目でありまして、一回目にちゃんとやっつけば済んだ話を余分な時間を使っ

てやり直しているということなんです。もちろん、完璧な生活というのは、人間にはなかなかできないことですが、それでも、さりとて、それでもいいんだなんて言っている人は、やはり、なるべく有効に無駄のない自分の人生をちゃんと

築いていこうと思った人には叶わないですね。そんなようなことで、是非これからのこの第二高等学校における生活を無駄なく、しかも有効にしたいだきたいと思えます。もちろん、決められたことだけにそま真面目にやっているとただけでは、やはり人間は決して大きなことができないということも間違いありません。その辺のところは、なかなか難しいですね。ここに、その人各々の考えが必要です。

## 中庸の精神を学ぶ

私が中学校の時、つまり第二中学校にいた時に、漢文の矢内先生に教えてもらったことですが、私が質問したんですね。とんでもない変な質問したんで矢内先生もびっくりされたんですが、要するに先方に対して正しいと思うことをやるとですね、他方に対して正しくなくなる、他の人にとっては、ちっとも正しくな

い。孝行しようとするれば忠ではなくなるという言葉がありますけれども、平重盛の親は平清盛ですね。親に孝行しようとするれば、つまり親の清盛の云うことをそとおりやろうと思えば天皇に対して不忠になると言って泣いたんですね。その話は、後で教えてもらったわけですが、その時に矢内先生が言われましたね、面白いことに目をつけたな。普通は授業の妨害でありますから、叱られると思いましたが不思議なことに褒められました。忠ならんとすれば孝ならずというのがあると。皆さん方がこれからどういう人生を歩いていくかということとは、二つの道義に同時に従うことが出来ないときにはやはりその間を通るといことなんだと思います。

これが道徳の一番難しい中庸という言葉で表現されます。つまり正しい事が、今言いましたように片方では正しくな

くなる。そういうものをバランスを取ってなるべく両方を満足出来るように仕事をしたいとというのが、これが重要だ。これが東洋道徳の一番最高の難しい問題であったということを書かれました。これが、各々の考えとして必要なので、別の言葉で云えば「ロマン」なのです。

そんなことが思い出にあるわけでありまして、しかしやはり先ず最初は、考え方を一つ一つ、本当に無駄にしないでしっかり皆さん方が考えた事を自分の中に止めておくということが必要であります。皆さん方、ビルゲイツといういう人を知っていますね。この間東京にやってきました。して話してゆきました。二十一世紀は、知識の時代であると言っていますね。情報の時代である。しかしです情報の時代と時代といったって、いくら物を知っていても、ちっとも役に立たない人はいくらでもいるわけですね。やはりそういう知識をこれからどう使っていくかということが、これから皆さんの人生がいかに世の中の人達に影響してくるかということについて一番大事なことな

んです。つまり、ロマンが大事であるということです。

## 中味の充実を大切に

ちょうど今、ドイツ年といまして、日本にドイツの方が沢山来ております。日本とお互いに切磋琢磨して、これから両国の繁栄のために多に貢献しようじゃないかということがあろうと思えます。たまたま私は今、公立大ですね、首都大学ですから。国立大学協会というのがありまして、その国立大学協会の先生方とドイツから来た先生方との間でいろんな講演会をやりたり討論したりしております。私共のところにも招待状が来ました。大学の用事があったもんですから、大分遅れて出かけて行ったんです。そしてらちようど最後の日本の先生の講演があったんですが、それが終わりました。両国の先生方がパネリストとして並んでいろんな討論をやったんです。その時に一番最初に立ち上がったのは、超有名大学の日本の先生であります。「どうも日本は、英語教育が非常に遅れている。もっと子供のうちからどんどん英語を教えなければ

ならない

ばいけないと思うのに、それが十分に進んでいなくて今後思いやられる」というお話をしたんですね。先生方どう思われますか。グルムスタット工科大学学長ヨハン・デイトリッヒ・ヴァーナー博士が憤然として立ち上がりました。なんとくだらないというふうなことを云ったのですね、お客さんで呼ばれてきてそういうこと言った例は、あまりないですから、余程癪に障ったんでしょ。つまり英語がしゃべれるかしゃべれないかなんてことは、ひとつの技術にすぎない。人間として一番大事なことは、いかなる心を持っているかということである。

教育の一番大事な点は、文化の伝承にある。日本にはどんな文化があるか、それをしっかりつかまえて、これを若い人達に繋いでいくということが教育者としても一番重要な仕事なんだ。中身さえあれば、どんな下手くそな英語でしゃべったってちゃんと聞いてくれるんだと云った訳です。実は、私初めて外国に行った時は戦後ですから、それまで英語なんて敵性言語だったんですね。だから英語の勉強とい

うのは、なかなかできなかつたということになるわけでありますけれども、そのために、中身はいいやと実は高を括っていたのが思い出すわけでございますが、あまり高を括らない方がよらしい。しかし自身の方をもっと大事にしなれば、いかに英語がうまくても何にもならないからということですよ。何でも中身の方が大切なのです。

キリストの言った山上の垂訓というのがありますが、皆さんがいかに立派な人格を持つつか、いかに立派な考え方を持つかということが基本であるということをや、ドイツの学者が言ってくれました。恥ずかしいような思いで聞いたわけです。たまたま数日後に文科省から今度は、小学校六年生から英語を教えるということが発表になりました。勿論、英語も上手にこしたことはありません。

### 本場の勇氣と信念を

それから一番問題なのは、みんな同じ格好になるんじゃないかということですね。つまり先程、校長先生からいろいろとお話があったわけ

ありますけれども、皆様方が一体、この学校でどんな人間になっていくか。それが一番大事なことなんです。たまたま井上成美提督の事も出てまいりましたし、三船久蔵十段のことも出てまいりました。

三船久蔵十段というのは柔道で一番段位が高いんです。初期の嘉納治五郎という人は、技術の方は、あまりうまくなかったんでありますが、柔道というものの精神をよく把握し、またこれをみんなに伝えたということで大將として尊敬されるわけでありまして、技術の事になると三船十段にやってみろということであつたわけでありまして。岩手県久慈の人ですね。わざわざ仙台までやって来て、この学校に入つたんです。そういう人が出てきています。

井上成美大將というのは、先程もお話がありましたように、みんなが多分、陸軍の軍人に暗殺されるのではないかと云って心配するほど戦争をするなということを言つたわけです。もちろん軍人というのは、戦争が起つた時には、ちゃんと戦わなきゃいけない。しかしそれ以前にやらなければ

ならないのは、戦争をやらないうようにしておくということとが大事なことです。そういうふうなことで、みんなが心配するほど戦争をやらずにすますということを一生懸命になって説き続けた方です。

井上さんのお姉さんが阿部陸軍大將の奥さんなんです。この阿部大將のことは、あまりみんな記憶されていないのでありますが、大命というか、つまり総理大臣として内閣を作るようにということ天皇から命令されました。やろうとしたんですが、とうとう内閣を組織することはできませんでした。陸軍が、戦争回避派の阿部大將なんか総理大臣にしてくれては困るということとで、自分の方から陸軍大臣を出さなければ内閣成立しませぬ。ということと、とうとうお詫びをして、その陛下のご命令をお返しを申し上げることになったんであります。

つまり井上大將一家が、みんな軍人でありながら無駄な戦争をしない方がいいという事を言つたわけですね。極めて猛烈な勇氣がいます。皆様方もこれからわかるだろうと思

うんです。みんなに殺される危険を犯して自分が正しいと思つたことは頑として譲らないということがができるでしょう。静かな勇氣だと思えます。派手な事を言つて大きな声で話すというふうなことも勇氣がいるかもしれません。本校の一つの特徴としては、私は、やはり見かけは静かに見えるけれども、内には熱烈たる熱意を持っている人達が、やはりみんなの先輩方からたくさん出ているというふうな思いますし、本校に勉強に入った皆さん方が、やはりそういう意味を、本場の勇氣とバランスをとつた信念を持っている人達になるように教育を受けるのではないかと思つています。

### 未見の我を発見せよ

先程の校長先生がお話なさつたわけでありまして、私が二年生の時、ちょうどそのへんにいたんです。朝、学校に来てみたら、今日は県知事の林信夫先生が学校においでになって全校生徒に話をするので、授業を止めて講堂に集まると言われたんですね。その時の話では、最後は岡山県知事をお辞めになった安積得也と

いう方がおられたんですが、安積得也先生という方が成功すると失敗するとは無関係にそれを乗り越えていくことだろうと思います。「成敗を超えて」という漢文調の詩集を出版しておられました。その中にあった言葉が、先程も校長先生のおっしゃった「未見の我を発見せよ」という言葉です。その時に私が、何か突然大きな感銘を受けました。

その後、いろいろな苦勞があった時に、まだ自分の努力が足りないから自分の天分を見つけないとできないのではなかなというふうに考える。何か、もういっぺんやってみようと思って頑張る。やっぱり駄目だ。しかし、もういっぺん頑張ってみようというところで一生を頑張り続けてきた気がしております。皆様方の中にもしっかり調べてみれば、とても考えられないような素晴らしい天分があるかということを私は保証します。自分の親は、そんな大した人間じゃないから俺達大したことないよというかもしれません。しかし、そのご両親の中に素晴らしい天分を持っていらっしゃるんだが、努力にも関わらず

不幸にして自分の天分を見つけないとできなかった。うちの息子もそうだと思ってるかもしれない。しかしそれは、やはり運も悪かったかもしれないませんが必死になって自分が何かやろうという、決して挫折しない努力を続けることが一番大事なんだということを申し上げておきたい。

偉大な先輩に続け

先程、校長先生からも言っておられました和賀井さんという皆さん方の先輩で今度八十一歳にして学士院賞ももらったんです。ですから、私は、この九月で八十歳になりますけれども、中学では二年先輩であります。ここでは二年先輩なんです。高等学校入ったら同学年になっちゃったんですが、それから人知れずこつこつと努力を続けて、手伝わ人もいますけれども、見事に超音波を当てることになって体の中の内蔵がどんなふうになっているかとか、どのようになっているかということに分かるようになりまして、多分、皆さん方も病院に行つて診察を受ける時には、まず和賀井先生の展開された超音

波の診断装置を使って調べられることになるだろうと思えます。そういう器械を作られたんですね。

ところがその前に、この先生はここではありませんが、高橋信二という先生がいらっしゃいました。この方は東北大学の学生だったんです。どうもあんまりいい点数がもらえなかったらしくて弘前医学専門学校、現在の弘前大学の医学部に移られたんです。そこで何やられたか。少しはわかると思いますが、何かこういう内蔵の写真を撮る時に、こっちから撮る、こっちから撮る。するとこっちから見た時の内蔵がどんなふうになっているか、こっちから見ると内蔵はどうなっているかが見えるわけですね。これを整理すると立体像が書けるわけです。ただ、先生ご自身で一生懸命ものさしを使っては体の中の立体像をいろんなふうにして調べておられたと。今ですから結核の診断も進歩しましたけれども、体の中のガンをつかまえようなんていう時には、この立体診断法というのが非常に重要な意味を持っているわけです。立体像図が

ないと手術ができるかできないか、そんなことわかりませんから、この方法は大変、世界でも普及しておりますけれども、この高橋先生がおやりになった方法を電子計算機を使って独りで電子計算機がとことこやってしまつてポットボタンを押せばすぐにこれが出てくるというふうにしたのがアメリカの学生とアメリカの会社です。東北大学の先生方は、高橋信二先生のお仕事を目の前で見ていながら、これがやがて電子計算機を使えば、あつという間にデータが出てくる大変有効な機材になるといふことに気がつかなかったんですよ。その時私は、もちろん入っていませんけれども、電気の方々がそういうことにお気づきにならなかった。気がついていれば、ご自分達がノーベル賞を受賞した管です。また、そういうことでこういう仕事は日本から出てくるということになれば、日本人にとっても大変いろんな意味で役に立たんじやないかということですね。それだけのことが見抜けなかった故に高橋先生はノーベル賞をもらい損ねてしまいました。

しかし外国人がやったから向こうの人達がノーベル賞もらっちゃったんです。和賀井さんの場合には、ノーベル賞まで行かなかったんでありますけれども、とにかくご自分でこつこつと一生を通じてこの仕事を使いやすい、患者さんの信頼に町のお医者さんが使ってもらえるようにするということに努力された。結果としては八十一歳にして学士院賞をもらえたんです。こういう先輩が皆さんの前にいるんだということをお忘れなくください。派手に騒ぐよりも地道に情熱を失わずに一生を貫き通すというような人達が出てくるのが本校の特徴ではないかと私は思っております。是非、そういうことを皆さんが引き継いで第二、第三の和賀井さんががが校から、またここから生まれてくることを私は心から期待しているわけです。

世界水準を目指せ

今、日本は資源がありませんね。何が危ない。人間が危ないんです。皆さんの頭の中に何が入っているかわかりませんが、その頭の中

から生まれてくるものが世界の水準を超えた時に初めて世界の人達があつと思ってくれるわけです。世界の水準以下じゃ何にもならないですね。そんなことをやっても意味がありませんし、おしまいになってしまふ。その水準を超える人達がこの中から出てくる。それは教育というものをいかに皆さん方が受け止め、皆さん方の持つている天分といつの間にか交錯して、素晴らしい能力が皆様方の体の中から出てくるようになるということから生まれるんです。たったいっぺんしかありませんけれども、皆さん方の素晴らしい才能というものが、そういう皆さん方の努力によって初めて花開くものだということを忘れないでいただきたい。何をやりたいかをしっかりと確かむ、それを何年もかけて確認することからはじまります。

能力、今、頭がいいか悪いかなんて決まってもんじゃないやありません。ドイツ人がいるんな調査をいたしました。学校時代の成績が良かった人がどうなったのか。非常に変な人だと言われながら学校時代の成績が良かったのは軍人と政治家なんですね。モルトケなんていうドイツの軍人であるとかビスマルクというドイツの政治家とか、そういう人達は、もう一点も削られないほど素晴らしい学校の成績を出した人達ですね。そういう大変な天才的な政治家とか天才的な軍人には、そういう人が多いのですが、学者は逆なんです。あまりよろしくないとね。あまりよろしくないとね。そこです。そういうことがあります。これは皆さん方にこういう事言いましたら先生に、変な事言わないでくださいよ、子供達が勉強しなくなりすからなんて言われてまいっちゃったんですけども、そんな時に、じゃあ勉強しなくてもいいやなんて思っているんじゃない、これは話にならない。必死になってやっぱり何かをターゲットにして勉強をしていくという努力を怠らせずにした人が成績は上がらなくても大変立派な仕事をするところがあるんだというふうに申し上げているわけです。皆さん方には、そういう才能が必ずあります。大いに頑張つて努力を中斷することなく素晴らしい成果を上げてもらいたい。

**国の繁栄は教育にある**

この間もいろいろあったんでありますけれども孟母三遷の教えというのは知っていますよね。孟子の母親が何か商店の隣に住んだら、孟子は商売の真似をする、これはいけないというわけで、最後に学校の隣に住んだら孟子が学校の勉強をするようになった。孟子の母が大変安心した。結果としては孟子は、ああいう学者になったという話があるわけです。これはいつ頃のことでかご存じですか。大体、キリスト生誕三〇〇年前です。今、ドイツで怒っているのは他にも理由がありまして、バビロニア教育計画というのがあるんです。これはヨーロッパ全体が同じ教育のやり方をとろうと全部英語にしようとしているんですね。こういうことがあるからドイツは怒っているわけでありませうけれども、とにかくいろんな文化を持った人が世界の中で融合して初めていろんなことが出てくるんです。というふうには確立してしまったりということは良いとは決して言いきれないですね。

そういう名前がついた教育制度というのが今、計画中でございませうけれども、このバビロニアに大学ができたのは、西暦約六〇〇年です。若者が呼び集まっていて、これからいろんなことを勉強しなきゃ、ちゃんとした生活をしていくことができない。いい先生方を呼んできてこういう講義をしてもらおうじゃないかということとまで決めたんですね。余計な事を言いますが、その時に御礼まで決めました。それぐらい若者が自分で勉強したくて学校を作ったんだということをは是非覚えておいていただきたい。

しかし、今申し上げましたようにアジアは、その遙か前です。九〇〇年前に既に学校があった、もっと前からあったんでしよう。孟子の頃にはちゃんと学校があったんです。千年ぐらいいは前のことだった。つまりアジアの教育というのは、ヨーロッパに比べれば千年前からいろんなことをやっけて調べているんですね。教育が悪かったら国が滅びます。日本、今、危ないです。しっかりした教育をやっていくということすれば国は栄えていくんです。いい教育をすれば国は栄える。その結果としては、いい教育が心を与えます。その長い人類の淘汰がありまして今日の教育制度が日本にもあったんだということとは忘れないでいただきたい。何だか、流行の外国の教育がみんないいんだと思ってしまうのは大間違いですね。やはり、それなりの素晴らしいものを持っているんです。今、私は、そういうことを言っただけから世界に向けてアピールしようとしているところで、アジアには素晴らしい教育があるということですね。

**尊敬される日本人の心**

国際連盟を作ろうというのは新渡戸稲造先生とか幾人の方々です。それまでは国と国との諍いは、必ず武器を持ち出した。これじゃ大変だと。何とかして話し合いで世界を一つに、妥協することができないかということが国際連盟を作ろうとなさった根本的な理由ですね。初めてこういう話し合いによる国際政治というものが始まったのは、新渡戸先生と数人の方々。北アジアの人達の特徴なんですね。

控えめな人達というのは人と争わない。だからあれだけ土地も広大なシベリアが、わずか数百年にして千人、二千人とか言われますが、そのロシア人に全部乗っ取られたんですね。結核菌に感染して亡くなった人が多いですね。そういう自分達が死んでしまっても争いを避けようとした北アジアの人達の持っている文化というものが、これからも大変尊重すべきものだと思えます。そういう日本の文化というものを再び磨き上げて、もういっぺん日本の国内から外に働きかけて行こう。

こういう考え方があるんですよというのを世界に向けて言いたいと思っております。間宮林蔵がシベリアに入っただんでね。あの時、まだロシア人は来ていなかった。ロシア流に言えば、シベリアに最初に行った外国人は日本人である。だからシベリアは日本のものですよということにもなりますね。不思議なことに日本人は、そのとおりに考えてみないんです。日本人というの、その北アジアの人達のうちのわずかになりますけれども、やはりそういうお

互いの事をよく考え合っって一緒に仲良くやっていきましようという素晴らしい文化を持っているんですね。これをもういっぺん担ぎ上げなきゃいけない。しかしこれは馬鹿遠慮して、引き下ることはない。相手のこともよく理解して結論を出す、それはしっかりと守り守らせると云うことなんです。

国際関係の先駆者で東京市長をされた後藤新平先生は水沢の方ですね。本校に入っただけで残念な方ですが、福島県のお医者さん学校で、この先生が台湾に行かれて台湾の総督であった児玉源太郎大將に、そのやり方が非常に見事なので民生局長になってくれと言われて民生局長になるためお医者さん辞めちゃうんですね。それで何が起ったかというところ、台湾は非常に病気が多いところ、湿度帯が多くて、デング熱とかマラリアが非常に盛んでした。それで後藤先生は、その湿地を乾燥してサトウキビを植えたんです。その結果として中国本土の人達よりも台湾の人達が遙かに豊かになった。それまで本土の人

から台湾の人達は何と言われているか。化外の民と言われているんです。化外の民というの、読み書きができないもの、読めなかった。その教育感化が行われていないなどと言われた台湾の人達の方が、そういうことを言っている中国の本土の人よりも遙かに豊かになっちゃったんですね。

文化も大変進んでまいりました。そういうことのために後藤先生に対しては、台湾の人達が非常に感謝の念を持っています。毎年祥月命日には台湾から飛行機いっぱいの人達が後藤先生のお墓参りに来ます。こういうことがとにかく東北地方にあるんだということを知っていただきたい。

### 東北の文化を日本の心に

私、岩手県時代、計算機の使い方だけ教える学部を作ったんですが、そのやり方が面白いから我々にも真似させてくれとある中国の大学が真似したんですね。岩手県の方は、そういう学部の学生総数は一学年一五〇人です。それに対して中国の大連の学校は、一学年一万五千人です。一〇〇倍です。俺達の方が進んでいるなんて思っていたら大間違いだ。皆さん方がやっとなら、是非いらっしゃるよう

に言ってくださいと言われてさういってくださりしやう。つまり日本人が何か悪い事ばかりしたように思われますが、もちろん悪い事をした人いるわけですよ。しかしちゃんと仕事をした人は、特にこの東北からたくさん出ておられるんです。そういう方々が行かれたところには、今でも天皇の像をちゃんと飾ろうとか、あるいは仲良く一緒にやりましようとか、お墓参りにくるとか日本まで御礼にいくとかです。そういう人達がいっぱいいるんだということも忘れないでください。素晴しい文化が特に、この東北地方にあったんだということも忘れずに、その文化をしっかりと受け止めてこれを日本の将来の心として後に続き、これに基づいて素晴らしい仕事をしていってほしいと思います。ちょっと長くなりましたが、是非、本当に次代を担う日本人としてちゃんとした生活がこの三年間本校でできることを私は心からお願ひいたします。おめでと。

# 共学化特集

## 仙台二高共学化実施

### 県教委で決定

仙台二高の共学化については十七年八月共学推進の口火を切った浅野知事の突然の辞任声明、十月知事選挙、村井候補が一律共学化見直しを公約に掲げ当選したこと、別学存続の可能性も現実味を帯び期待が高まっていた。しかし、十八年一月十四日、県議会は世論を確認する必要を訴えた請願を否決し、共学推進の請願を全会一致で採択した。

一方、県教育委員会は十二月二十六日臨時委員会を開き課題整理をした上で、年明けの一月十日最終決定の委員会を開いて、二〇一〇年までに全ての県立高校を共学化することを決定し、村井知事に伝えた。結果的に知事もこれを受け入れ県立高校一律共学化は二〇一〇年までに行われることになった。(別表参照)

村井知事は当選後、議会の答弁などで公約に掲げた共学化見直しを主張、「伝統も教育的要素」の考えを披瀝した。一方、別学維持を主張する公立高校同窓会、PTA、関係者と市内公立高校の生徒二百名とは十万人の署名簿を知事

勢を示す場面もあった。

しかし議会と、県教委の共学化推進強行の動きを止めることはできなかった。教育問題は教育委員会の専断事項であり、知事の権限外という現行法の壁を破ることはできなかった。

県教委のこの決定に仙台市長の「県教育史上の汚点」発言が話題を呼び、共学化強行の今後に不安を感じる世論も多い。

### 一〇回の調整会議で激論

(仮称)仙台二高共学化調整会議は十七年三月、一年延期の議会採択による附帯意見を受けて、二高同窓会、PTAと県教委・仙台二高学校当局の四者で十七年五月から十八年三月まで、月一回、計十回、二時間の会議を開催した。

県教委は共学化に理解を求め、ことに終始し、同窓会やPTA側からは合理的説明がされないことへの不満が続出したが結局、初めに共学ありき決定事項で変えられない、の県教委のかたくなな主張は変わらず平行線のまま終了することになった。

各回の議事録は三七〇余頁の議論の貴重な記録となったが更に、この議事録を基

に論点整理を四者で行い、二〇項目の論点を横比較できるものを作成した。

### 議事録から論点整理表作成

- 調整会議の位置づけ
- 平成十七年二月・十一月議会採択の附帯意見の解釈
- 将来構想策定に向けたアンケート調査の結果及びその捉え方
- 有識者会議における共学化に関する議論について
- 県立高校将来構想に関する意見を聞く会の結果処理
- 共学化施策を進める理由
- 県財政の逼迫化状態における共学化推進の是非
- 共学化推進のメリット・デメリット
- 将来構想で謳っている関係者の理解を得ながらの解釈について
- 別学校の伝統の継承
- 知事選の結果は最新の民意ではないか、十万人署名の扱い方
- 仙台二高の共学化時期の理由と関係者への説明、手続きについて
- 仙台二高共学化に伴う中学生への影響、仙台北学区の男女定員バランス
- 共学化に伴う学力向上問題について
- 共学化開始時期が異なる
- この是非
- 男女共同参画社会推進のため全て共学にするのか
- 関係者の理解が得られているか
- 教育委員会の独立性について
- 男女別学に関する国の見解について
- 教育委員会の機能
- 一律共学化することの教育的視点、科学的根拠の有無
- 以上が昨春秋以降の共学化についての県教委との攻防の経過である。

## 仙台二高同窓会 共学化問題関連 記録

平成17年 (2005年)

- 1月21日(金) 県議会文教警察委員会にて「請願書」を付帯意見を付けて採択
- 2月16日(水) 県議会本会議で「請願書」を付帯意見を付けて採択  
⇒ 仙台二高の共学化は1年間延期が確定した。
- 5月30日(日) 付帯決議に基づく「仮称・第1回仙台二高調整会議」が開催
- 7月2日(土) 同窓会定期総会開催 (同窓会会則の改定) ⇒ 評議員会、理事会を新設。別学アビールの集い ― 伝統の継承と創造 ― (141ビル5階)
- 15日(金) 「仮称・第2回仙台二高調整会議」
- 25日(木) 「仮称・第3回仙台二高調整会議」
- 8月5日(日) 浅野知事は4選出馬はしないと表明する。(任期は11月20日まで)
- 21日(土) 「仮称・第4回仙台二高調整会議」
- 31日(木) 第1回評議員会 開催(会則改正による第1回目)
- 9月15日(水) 白石高校にて同校同窓会長等と意見交換(高橋副会長、二階堂守会長他)
- 16日(木) 街頭署名活動 同窓生・親の会・連絡会 ⇒ 25日(日)に第2回目
- 23日(水) 街頭テモ行進 同窓生・親の会、連絡会
- 28日(月) 別学維持アビール決起大集会 講師⇒鈴木健二氏「男女別学の効用と役割」
- 10月3日(日) 「仮称・第5回仙台二高調整会議」
- 23日(土) 知事選挙投票日、即日開票の結果、村井氏が当選。
- 11月7日(日) 「仮称・第6回仙台二高調整会議」
- 24日(木) 第2回評議員会 開催
- 25日(金) 村井知事に10万人署名簿を提出。(同窓生、生徒、親の会)
- 12月15日(水) 県議会は共学化推進の請願を採択し、県民へのアンケートを求める請願は不採択
- 19日(日) 「仮称・第7回仙台二高調整会議」
- 26日(日) 「教育委員長との懇談の開催申し入れ」の書面を提出。

平成18年 (2006年)

- 1月10日(水) 県議会議長宛に。付帯意見の公正な扱いについて、要望書を提出  
教育委員長・教育長との懇談 開催
- 13日(土) PTA・同窓会合同新年会に、村井知事が出席。
- 27日(木) 調整会議のあり方を考える会合
- 2月3日(日) 第3回評議員会で、意見広告の掲載、要望書の提出、アンケートの実施を決定。
- 9日(土) 「仮称・第8回仙台二高調整会議」
- 3月9日(木) 仙台二高共学化関連予算の再考について(要望書)提出⇒知事、議長、教育委員長等
- 10日(金) 河北新報に、意見広告を掲載
- 16日(木) 「仮称・第9回仙台二高調整会議」(論点整理)
- 25日(土) 26日(日) 一律共学化反対のチラシ配布活動
- 30日(木) 「仮称・第10回仙台二高調整会議」(論点整理)
- 31日(金) 同窓会有志が、「住民監査請求」を監査委員会に提出⇒4月24日に却下される。
- 4月1日(土)、2日(日) 一律共学化反対のチラシ配布活動
- 12日(水) 河北新報に、2回目の意見広告を掲載



# 共学問題の意見広告への世論

河北新報に掲載の意見広告に一般の方から多数のご意見が寄せられ心から感謝いたします。そのうちご記名のご意見の全てをご本人のご了解を頂き掲載します。紙面の都合で文章の一部を割愛させて頂いたことをお許しください。

(敬称略)

## 「古き良き伝統を守るろう」

東京都 荻原 達義  
(石巻高卒)

先日、郷里に帰って新聞の意見広告を見て、まだやっているのかと驚きました。県立高校の一律共学化など百害あって一利なし、正気の沙汰とも思えません。すべて議論は出つくしているのでしょうか、一般的に高校生の男女共学では女子は荒荒しくなり、男子はヘナヘナと女らしくなりません。私の家の近くに男女共学の都立高校がありますが、放課後はコンコン手をつないで帰るアベックが多く、男女共服装はだらしなくなり、都立高校生というプライドなどカケラも見られませんか。

宮城県は別学で歴史のある学校が多く、それぞれ伝統もあり素晴らしいと思います。伝統を守るといふ考えは保守

的と受け取られがちですが、決してそうではありません。

伝統は意識して守らないとすぐ失われてしまいますし、そうなるからでは遅いのです。この問題は将来のわが国を支える人材を育てあげる国家百年の計に関係する重大な問題です。伝統や心の問題は多数決で決める問題ではなく、ミスリードする県教育委員会は伝統破壊の責任をどう取るのでしょうか。頼んだ覚えもない教育委員会に無責任な行為をさせないためにも委員会メンバーを公表し各自の考えを述べさせるべきです。

一律共学化反対の理由は「古き良き伝統を守ること」それだけで十分です。

## 「卒業生の思いを大切に」

仙台市 熊坂能理子

私は宮一女13回卒ですが昭和33年に入学した時、教頭か

ら進駐軍が宮城県の男女別学を容認したことや、一女高が県内で始めて制服を採用したいきさつを聞かされ伝統の重さを感じました。

早、卒業以来45年、一女高の存在はかけがえのない私の糧であります。しかるに先輩と後輩が培ってきた伝統を、どうして一元的な考えから一律共学化をしなければならぬのでしょうか。ずっと心にわだかまっていました。近頃は知事までやむなしとするなど空しさを感じています。一体県教委に何の権限があつて卒業生の思いを踏みつけるのでしょうか。教育云々とは片腹痛いという思いです。一律共学化は悪平等の最たるものです。何としても守り抜いてほしいものです。

## 「大切な伝統を守るろう」

仙台市 千葉 恭子

河北新報の県立高校一律共学化の意見広告を拝見してペンを取りました。

私としては県教委の考え方があまりにも一方的に思えます。戦前戦後教育を受けてきた者としてアメリカ化されたものが果たしてよかったかどうか、現在教育の結果が出て

来ており色々な点から考えさせられる時に来ていると思えます。失う事はたやすくとも長い伝統を再び築く事は出来ない。ただ単に他県が共学だからといって本県も一律というのには当てはまらない。毎年京都を訪れてやはり千年の歴史があるから魅力があり人々も伝統を守っているからこそ世界の京都として存在していると思う。内容は違っても、やはり大切なものは残していくべきだと思います。

## 男女共同参画社会は理解できませんが、このテーマも一体

どれだけの人が理解しているのでしょうか。いつも机上のテーマで共学になったからとてどれだけ男女が向上しているのでしょうか。一部の方が声を大にして叫んだところで現代の社会は少しの進歩も見られない要求のみ強く責任のない姿が多い。宮城県なりの特色あるやり方で共学でない伝統ある学校を是非残し地域社会や世界に向かって貢献できる人材の生まれる事を願うばかりです。

教育委員会のあまりに頭の固いのには驚いてしまいました。何でも風潮に乗れば良いとい

うものではなく教育は百年先まで見つめて欲しいと思えます。一律共学化は絶対反対です。村井知事も、もう一律共学化が定まったようなお話でがっかりしています。もっともっと県民が考えるべきで、県議会議員さんもう少し深い考えが出来ないものかともどかしく思いました。反対のために運動していらっしゃる皆様のご苦勞がよく理解出来ます。日本の伝統を守りたい。

## 「心豊かな人間育成が原点」

仙台市 塚本さなえ

本日、十二日の河北新報をみて早速意見を述べたいと思えます。

私は宮一女高の卒業生です。私が入学した時は学区制はなく何を入学の理由に選んだかと言えば学校の「校風」でした。学区制になってから校風も薄れ点数のみで入学して入ることが多いとか、私は別学共学を自分の意思で選択する自由社会が大切だと思います。県や新しい校長は財政を理由に子ども数の少なくという理由で共学を話します。共学にするためトイレ改修工事などにお金をかける方が税金のむだ使いです。まず学区制を

外すことが選択幅を広げ学力も向上すると思います。宮城県一学区でも良いと思います。そして人気の無い学校をやめて、そこに今足りない、条件なしで希望者が入れる保育所とか、その脇に比較的動ける老人のホームを作るとか考えるべきです。日本全体が少子化といいますがその原因、対策を考えるべきです。高校の問題よりもこちらの方が大切な問題です。このような理由で二高同窓会に賛成します。

人生を歩んで来て高校の校風「自主・自立」が今日の生徒にとってプラスになっています。勉強、成績の成果なんて基礎の一部にすぎません。その上に自分の人生を築きあげていく人生こそが意義があります。高校が特色を出し自分の場合と違う入学出来るのが幸せと思います。子供達の意思を尊重し、心豊かな人間を育てることが教育の原点であると思います。学校の勉強は忘れれば役に立ちません。それより若い時楽しく過ごした時間が一生役に立つ勉強です。

「人間成長の原点の認識を」  
名取市 洞口 貞孝

高校生と言えど武家社会の時代は元服の年齢で、又、男女それぞれのホルモンが急激に発達する。今の教育を預かる人、又議員は人間成長の原点を知らないのも甚だしい。宮城県として別学あってしかるべし。

「別学の存続を望む」  
名取市 洞口 律子

県立高校一律共学化大反対です。

私の娘達、孫(在校生)は別学です。みんな別学が良いといっています。別学が性差別等もつてのほか、共学希望の人は他に多数の共学校があります。県議会、県教育委員にて決定されては困ります。次世代を担う子供の教育です。宮城県独自の別学高校を存続してください。

「尊い伝統を守る会」  
仙台市 佐々木 崇

三月十日河北新報朝刊の記事を見て二高に関係している皆様の考えに賛同しこれからも激励いたします。その国や学校、家庭においても立派な伝統や歴史があり、それを考えない人間は悲哀に等しい。

どこまでも反対し尊い伝統という「家宝」を守りましょう。  
「共学化反対は  
会員の総意ではない」  
仙台市 森 憲一

去る四月十二日付の河北新報に仙台二高同窓会名で共学化反対の広告がのっていた。私は同窓会の一員として憤りを禁じ得なかった。以前、同窓会報に共学化反対と賛成の意見がのっていたのは何だったのか。会員すべてが共学化賛成か反対のどちらか一方に

百パーセントまとまったのなら別だが、一部の会員の強硬論に押され共学化反対に傾いたようである。それなら同窓会の一部の意見と明示すべきである。私は仙台二高二回生であり昭和二十三年に旧制二中から新制二高に切り替わっ

た時の当事者で当時のことは鮮明に覚えている。当時は戦争中の軍国主義教育を掃蕩し民主教育が実施されつつあった。新憲法が制定され六三制が導入された。国民学校が小学校に名を変え、旧制中学、旧制女学校、旧制高等学校が解体され、新制中学、新制高校が創設されたのである。しかも、小学校六年、中学校三年、高等学校三年で男女共学の六三三制が全国に波及したのである。

ところが、宮城県の教育関係者は、旧制中学や旧制女学校の解体に反対し、軍国主義教育の温床であった校舎や教職員をそのまま残し、もちろん男女別学のまま名前だけ新制高等学校や新制女子高等学校にしてしまったのである。

私は自動的に仙台第二高等学校生徒にされ、大いに戸惑った。新制二高とはいえ古い校舎、同じ顔触れの教師・生徒で何ら変わりばえのしない日々が続いた。それまで軍国主義教育を標榜していた先生方が、一転して民主主義を唱えるのだから、矛盾からの脱却に右往左往する高校生活であった。時の教育改革を宮城県も仙台市も素直に受入れ、昭和二十三年に共学を決めていれば、今になって共学だの別学だのと時代錯誤の論争をしなくて済んだのにとつくづく思う。昭和二十三年当時のことをもって同窓会員に知らせ民主主義の原則の一つである男女共学は当然であることを分からせるべきである。

仙台二高の伝統を守る会  
活動報告

『仙台二高の伝統を守る会』からの呼びかけに応じて、多数の同窓会会員各位からご支援を受けました。昨年度のご主な活動内容と2005年の主な収支を報告し、同窓会会員の皆様のご協力に感謝いたします。

- 主な活動内容 (同窓会と一体となって)
- ① 毎週土曜日午後、定例の会議を開催 (北陵館)
  - ② 別学維持アピール決起大集会開催 (9/28講師⇒鈴木健二氏)
  - ③ 同日、市内を該当デモ行進 (一番町など)
  - ④ 知事、県議会に対する請願・陳情・要望書の提出
  - ⑤ 河北新報への意見広告掲載 (2006年3/10、4/12)
  - ⑥ 一律共学化反対ピラの作成・署名活動
  - ⑦ 他高校同窓会・有志との連絡会開催 (毎週午前・北陵館)

主な収支報告 (2005年1月~12月)

主な収入  
同窓会会員からの寄付 2,512千円  
(その内 振込者数⇒787名)

主な支出  
大集会等の経費一部 1,116千円  
チラシ印刷費等 750千円

仙台二高の伝統を守る会  
会長 二階堂 正

一般市民は一律共学化に否定的

—18年4月の市民意識調査で判明

宮城県教育委員会が進めている一律共学化施策は一般市民からはどう受け止められているのか？ 同窓生の七割以上、在校生保護者の八割、在校生の六割以上が一般の共学化に反対しているが、一般市民の意識に就いては①平成八年の県教委による調査結果、及び平成十一年の県教委による調査結果しか調査例が無く、しかも上記①は別学を不満とする回答が1%、一方で②では共学化賛成が六割以上という相反する結果である。特に②に就いては設問が誘導的かつ作爲的であるとの批判があるにも拘わらず、県教育委員

同窓会・民間調査機関に委託するたため、純粋に民意を調査するため敢えて同窓会が民間調査会社(株)日本リサーチセンター)に委託をし、市場調査方式により一般市民が一般の一律共学化をどう捉えているのか、客観的に調査を行った。調査時期は、平成十八年四月、調査対象は仙台市内の一般市民一〇〇〇名であり、内男性女性が五〇〇名ずつ、また年齢階層も二〇代から六〇代まで二〇〇名ずつというものである。回答率が93%であった。その結果(当稿執筆時は速報)によると、一律共学化賛成が34%、一律共学化反対が38%、どちらでもないが26%であった。賛否が拮抗する結果が示されている。

その他、仮にこれから受験するなら共学別学どちらを選ぶか、選ぶ理由は何か、も設定し結果を得ているので、

添付の集計表を御参照された。尚、一般の平成二十二年度まで一律共学化することについては回答の中で一位だったのが、「財政状況を踏まえ、他の教育施策(学力向上、学区制見直し等)と優先順位を勘案すべき」であり、その次が「財政状況に拘わらず一律共学化すべきではない」であった。むしろ平成二十二年度までの実施については否定的である。

本来ならば、教育委員会等公的な機関が行うべきものであるが、どこも行わないので、敢えて同窓会として調査を実施した次第である。結果としては一般市民は必ずしも一律共学化に賛同しているわけではない。県教育委員会は、独立とは言えども独善であってはならず、県民(市民)の意志する所に依って立たねばならないと考える。同窓生諸氏の御意見等を受賜りたい。

1. 男女共学化について

Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '一律「男女共学化」に賛成' (16.2%), 'どちらかと言えば一律「男女共学化」に賛成' (17.9%), 'どちらかと言えば一律「男女共学化」に反対' (17.5%), '一律「男女共学化」に反対' (20.5%), 'どちらとも言えない' (25.9%), '無回答' (1.9%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%), '『賛成』' (34.1%), '『反対』' (38.1%).

2. 仮に受験する場合、「男女共学」「男女別学」高校のどちらを選ぶか

Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '「男女共学」高校' (32.9%), 'どちらでもかまわない' (46.2%), '「男女別学」高校' (17.3%), '無回答' (3.5%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

3. 「男女共学」高校を選ぶ理由

Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '男女一緒に学ぶ場合がより自然であるから' (59.3%), '共学高校の方が楽しいから' (53.8%), '男女の性差にとられることのない教育が必要だから' (44.3%), '男女と一緒に学ぶ方が、男女の役割や特性を自覚できるから' (40.1%), '男女の競い合いがあるため、共学高校の方が学力向上に繋がるから' (6.7%), 'その他' (3.1%), '無回答' (0.0%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

4. 「男女別学」高校を選ぶ理由

Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '別学高校の伝統には、共学高校にはない魅力があるから' (69.8%), '異性の目を意識することなく、伸び伸びと勉強や部活動ができるから' (55.2%), '男女が別に学ぶ方が、男女の役割や特性を自覚できるから' (33.7%), '別学高校の方が、友人関係など、より緊密な関係ができやすいから' (26.2%), '異性を意識することがないため、別学高校の方が学力向上に繋がるから' (19.8%), 'その他' (4.1%), '無回答' (1.2%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

5. 平成22年度までに県内高校一律「男女共学化」することについて

Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '財政状況に関わらず、一律共学化するべきである' (14.6%), '財政の回復を待った上で、一律共学化するべきである' (12.6%), '財政状況を踏まえ、他の教育施策(学力向上、学区制見直し等)と優先順位を勘案すべきである' (44.8%), '財政状況に関わらず、一律共学化するべきではない' (23.3%), '無回答' (4.7%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

F-1 性別. Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '男性' (50.1%), '女性' (50.0%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

F-2 年代. Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '20代' (19.9%), '30代' (20.0%), '40代' (20.1%), '50代' (19.9%), '60代' (19.9%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

F-3 地域. Table with 4 columns: No., カテゴリ, (全体)%件数. Rows include '青葉区' (19.9%), '宮城野区' (20.0%), '若林区' (19.9%), '太白区' (19.9%), '泉区' (20.1%), 'サンプル数 (%ベース)' (100.0%).

I [一般会計] 平成17年度収支決算報告並びに平成18年度収支予算案

(単位：円)

区 分	項 目	平成17年度			平成18年度
		自 平成17年 4 月 1 日 至 平成18年 3 月 31 日		平成18年度	
		収 支 決 算	収 支 決 算		
予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	(A) - (B)	収 支 予 算 案		
収 入	前年度繰越金	375,618	375,618	0	1,175,180
	年会費	9,900,000	9,019,000	881,000	8,100,000
	(人数)	(3,300人)	(3,006人)	(46人)	(2,700人)
	入会金	1,130,400	1,119,600	10,800	1,130,400
	(人数)	(314人)	(311人)	(0人)	(314人)
	預金利息	0	11	△ 11	
	寄附金	0	0	0	
	名簿等売上金	0	0	0	
	奨学会受入金	200,000	220,000	△ 20,000	200,000
	その他収入	0	16,000	△ 16,000	
	特別会計受入額	0	4,500,000	△ 4,500,000	
合計 (C)	11,606,018	15,250,229	△ 3,644,211	10,605,580	
支 出	總會等案内発送費	2,300,000	2,472,921	△ 172,921	2,000,000
	(発送通数)	(15,000通)	(15,015通)	(△ 15通)	(15,000通)
	秋季会報発送費	2,500,000	2,935,487	△ 435,487	2,500,000
	(発送通数)	(15,000通)	(14,717通)	(283通)	(15,000通)
	校内活動助成費	1,500,000	1,513,625	△ 13,625	1,150,000
	卒業記念品	650,000	680,190	△ 30,190	650,000
	總會旅費補助	250,000	259,750	△ 9,750	250,000
	總會補填	250,000	302,383	△ 52,383	200,000
	(出席者数)	(150人)	(117人)	(33人)	(150人)
	P同懇補填	300,000	32,334	△ 267,666	200,000
	(出席者数)	(200人)	(143人)	(57人)	(200人)
	地区總會等旅費	200,000	245,240	△ 45,240	150,000
	地区總會等祝儀	150,000	100,000	△ 50,000	150,000
	会議費	300,000	800,847	△ 500,847	250,000
	慶弔費	200,000	317,764	△ 117,764	200,000
	人件費	600,000	607,295	△ 7,295	600,000
	事務消耗品費	100,000	430,157	△ 330,157	100,000
	切手葉書送料	100,000	319,625	△ 219,625	100,000
	電話料	140,000	175,263	△ 35,263	140,000
	振込手数料	250,000	372,097	△ 122,097	150,000
	設備費	200,000	257,500	△ 57,500	100,000
	雑費	100,000	67,637	△ 32,363	100,000
	その他	0	0	0	0
(予備費)	共学化検討会議費等	1,516,018	2,184,934	△ 668,916	1,615,580
合計 (D)	11,606,018	14,075,049	△ 2,469,031	10,605,580	
繰越金	(C) - (D)	0	1,175,180	△ 1,175,180	0
現預金等残高 (H18. 3末)	現金(事務局)		44,533		
	現金(事務所)		7,877		
	普通預金(七十七)		606,970		
	郵便振込(大町)		515,800		
	郵便貯金(大町)		0		
	仮払金		(+)	0	
	仮受金		(-)	0	
差引合計			1,175,180		

II [特別会計] 平成17年度収支決算報告

自 平成17年 4 月 1 日 至 平成18年 3 月 31 日 (単位：円)

区 分	項 目	収 支 決 算 額
収 入	前年度繰越金	26,018,954
	預金利息(1年)	0
	預金利息(解約)	4,244
	合計	26,023,198
支 出	一般会計繰入額	4,500,000
	合計	4,500,000
次期繰越金		21,523,198
現預金等残高 (H18. 3末)	普通預金(七十七)	0
	定期預金(七十七)	21,523,198
	一般会計より借入金	0
	合計	21,523,198



平成17年度事業報告

Table with 5 columns: Date, Day, Event Name, Location, Time. Lists various events from 5月12日 to 2月28日, including general assemblies and PTA meetings.

平成18年度事業計画

Table with 5 columns: Date, Day, Event Name, Location, Time. Lists planned events for 2006, including general assemblies and PTA meetings.

(注) 以上の事業報告ならびに事業計画案は、毎年定例となっている事業に関するものである。(共学化関連の事業については、総会で報告される)

PTA・同窓会 合同新年懇親会報告

去る平成十八年一月十三日 仙台ホテルを会場にして恒例の懇親会が開催されました。元校長の高橋清久先生、仁科博之先生、牛田敏先生をお招きし、途中からは村井嘉浩宮城県知事にもご参加いただき、PTA・同窓会合せて百五十名という盛大な会となりました。式次第をここに掲載します。

PTA研修会

(十六時三〇分)

講師 菊池 武烈先生

(東北大学教育学研究科教授)

新年懇親会

(十八時二〇分)

閉会の辞

同窓会事務局長 戸田 慶三

校歌斉唱

挨拶

PTA会長 鈴木 密明

同窓会副会長 高橋 正道

来賓紹介・米賓代表挨拶

クラブ活動講演会・

教科指導費補助金の贈呈

在仙会員叙勲者へ記念品贈呈

⑦幹事代表挨拶 犬飼 健郎 (高十七回)

⑧鏡開き・乾杯

⑨祝宴 (アトラクション・福引き)

⑩応援歌斉唱

⑪万歳三唱

PTA副会長 内田 正之

⑫閉会の辞

同窓会副会長 佐伯 康全

同窓会入会式 厳粛に挙行!

去る二月二十八日 二高講堂にて高校58回生の同窓会入会式が挙行された。58回生の評議員と常任委員及び名簿委員は次の通り。

代表として相場 峻君が挨拶した。

評議員 浅野 祥

三年一組 相場 峻

三年二組

三年三組 畑内 哲史

三年四組 植村 翔太

三年五組 沼田 政憲

三年六組 菅原 勇

三年七組 木田 武宏

三年八組 佐々木友樹

◎名簿委員七組 木田 武宏

春の叙勲者

瑞宝双光章 池田 公喜 (中44回)

黄綬褒章 大場 周造 (高3回)

小山喜三郎氏 (高5回)

同窓の(高五回卒)小山喜三郎氏が(社)宮城県芸術協会の第八代の理事長に推挙選任された。同協会は五月二十一日総会を開催し小山喜三郎氏を理事長に推挙した。宮城の芸術文化発展に活躍されることを期待したい。小山氏は昭和二十八年仙二高卒業、三十二年東北大教育学部卒、一女高教諭、東北大等各校講師、モダンアート協会日本美術家連盟、宮城県芸術協会などの会員、河北美術展顧問。「風土による東北のかたち」河北新報発行、「スケッチ・イン仙台」シリーズ画集など出版。

# 支部総会 同期会 開催報告

## 関西西北陵会第八回 総会開催報告

小松 寛明 (高33回)

平成十八年三月十一日土曜日、大阪の十三（じゅうそう）と読む）で関西西北陵会総会並びに懇親会が開催された。仙台から柏葉浩明校長先生、高橋正道同窓会副会長に來賓としてご出席いただいた。会員二十三名が参加した。昨年の総会に仙台二高で音楽の教鞭をとられた大阪府豊中市在住の松枝良子先生をお招きし、校歌のピアノ伴奏をしていただいたことは、前の同窓会報に記した。今後も関西西北陵会にご出席いただくとお願いし快諾をいただいたので、今年の総会の案内をさし上げたのだが、体調が思わしくないとということで欠席のご返事をいただいた。その後間もなくして、先生の愛弟子、星三男氏（高校6回）から松枝先生が総会の直前、

三月二日に急逝された、との連絡をいただいた。総会では冒頭、司会の柴崎慎吾氏（高校21回）がこのことを報告した。一同訃報に接し驚きと落胆の念を隠せない様子だった。松枝先生のご冥福をお祈りし、全員で黙祷を捧げた後、今年はいかべらで校歌を斉唱した。会長挨拶、ご來賓挨拶に続き、昨年度の活動報告、会計報告、会計監査報告がなされ、了承された。また、本年は役員改選の年にあたるが全員再選された。なお、関西宮城県人会の事務局長、砂金三男氏から県人会の紹介をいただいた。今年の講演会は関西西北陵会副会長、麻喜宏雄氏（高校9回）にお願いした。題して「仙台二高秘話」。「文武



各地の同窓会

両道」の我が母校はスポーツの分野での活躍も著しい。麻喜氏は応援団長としての視点から運動部を語り、先輩方のエピソードが紹介された。なかでも一九六〇年に開催されたローマ・オリンピックのボート競技に二高の先輩方が出場したというお話は百年史にも収録されていないことで、興味深かった。懇親会では、星氏から松枝先生がお亡くなりになった経緯、同じく先生の薫陶を受けたグリークラブの加藤英臣氏（高校6回）らとともにご葬儀に参列した旨を聞かせていただいた（なお、関西西北陵会からは弔電をお届けした）。懇親会のために高橋副会長から宮城の銘酒、「栗駒山」、「墨の江」、「浦霞」をいただいたことも記しておく。

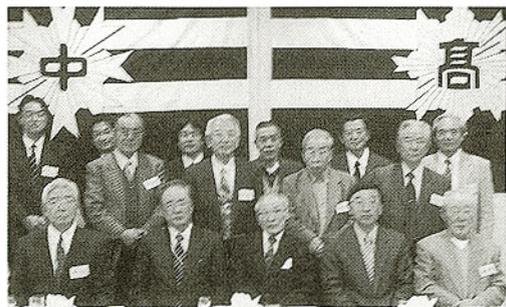
は後の世代のために継承していくことが必要である。より若い世代の参加が不可欠だ。筆者が大阪に來たときには仙台二高の同窓会支部はおろか連絡網すらなかった。寂しい思いをしたものだ。今年の総会には、高橋副会長のご子息で神戸在住、潤氏（高校47回）、京都大学大学院の佐々木孝史氏（高校51回）、同志社大学の宮城良輔氏（高校53回）が参加した。遅れて二次会に、大阪外国語大学を卒業し大阪で仕事をしている紅林雄氏（高校51回）が駆けつけてくれた。若い人たちが、関西には優秀な大学、企業が多数ある。日本の文化発祥の地も関西である。現役の諸君も日本の歴史・伝統・先端技術が凝縮された関西圏の大学を進路として考えてはどうだろうか。神戸にも空港ができた。進学の折には是非関西西北陵会まで連絡を。熱烈歓迎、大阪・京都・神戸を始め関西の味を知り尽くした幹事一同が案内します。また、関西赴任の同窓生の方、一時的に出張で関西に來られる同窓生の方も是非ご一報を。

## 岩手北陵会総会開催 同窓の絆深める

平成十八年一月二十八日に岩手北陵会（氏家和国会長）総会がホテルメトロポリタン盛岡で開催された。

出席者十五名、母校渡邊数頭先生、高橋同窓会副会長が参加され、母校、同窓会の近況について報告が行われた。

特に母校の共学化については関心が深く、青春を培った在学中の思い出とともに、伝統の行方に危惧を持つ議論が多かった。今後一層、地域同窓の絆を深めることを誓い散会した。



### 中学三十九回卒三九会

丸谷 孝郎 (中39回)

陽春之候、まもなく風薫るさわやかな季節を迎えます。母校いよいよ御発展の趣、心からお慶び申し上げます。さてこの度、中学39回卒業の三九会昼食会を銀座入母屋にて開催致しました(幹事神



中学三十九回卒

三九会の昼食会

四月三十一日  
銀座入母屋にて

丸谷 孝郎  
山川 民夫

矢嶋 一郎  
黒澤 信幸  
堀田 満

神谷 広  
笠松 勲  
熊谷 芳博

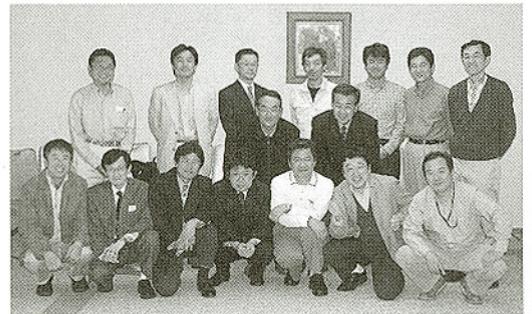
谷)。創立百周年記念同窓会名簿に依りますと首都圏には二十四名在住しておられる様ですが、今回は山川民夫(元仙台二高同窓会東京支部長、日本学士院会員、東京大学名誉教授)を初め、常連の八名のみでした。人間干支を七回も迎えばどこか故障するもの、八名の出席でも満足しなければなりません。

平成十二年以降の物故者十四名の名簿が配布され冥福を祈ったところです。話題は在学中の思い出、各人の近況、母校の共学問題、大学進学状況等々の話題で、三時間の会合は盛会裡に再会を約して末広となりました。

### 高31回生同期会開催!

遠藤 吉夫 (高31回)

去る五月十三日(土)、硬式野球の定期戦の熱気が冷めやらぬ夕刻六時より、仙台ホテルで、高31回生の同期会が開催された。これは、高校を卒業して二十五年以上が経過し、これまで大きな同期会を開催してこなかったため、そろそろ同期会を開催してほしいとい



まってくることを期待したい。○平成十七年度参加者  
相澤敏也・石垣 晃・石川正浩・伊藤雅之・伊深和裕・遠藤新一・遠藤吉夫・太田康裕・大原敦彦・大沼芳浩・小野泰弘・加賀谷正樹・木村毅・小泉伊知朗・後藤 浩・佐々木隆・菅原俊樹・鈴木利明・鈴木直樹・高倉祐一・高橋 健・千葉 明・羽賀義広・花淵浩司・早坂幸浩・本間雅之・森 俊之・吉田 尚(以上二十八名)

う要望が高くなったのに加え、平成十九年度よりP同窓や同窓会総会の当番幹事が回ってくるに備えて、31回生の同期会の結束を固めようという趣旨で開催されたもの。昨年、改装なったフルキャストで定期戦が開催された日に初めて実施し、そのときは二十九名が集合、今年は十七名が再び集合し、高校時代の懐かしい思い出を語り合った。来年は恩師も招待して、ぜひともっと多くの同級生を集めようと堅く約束をかわした。来年も、硬式野球の定期戦に合わせ、次の日程で開催を予定。昼は定期戦を観戦し、夜は勝利の美酒。たくさん31回生が集

### 青春の覇気衰えず 高校3回同期創成会開催

高校3回卒(昭和26年卒)の恒例の同期創成会は四月二十二日午後五時から仙台国際ホテルで開催された。

出席は首都圏から八名、福島三名、山形一名、仙台二十八名計四十名であった。

佐藤徳郎君の名司会で開始され、初めに病気に勝てず物故した友人の冥福を祈った。

比較的元気な同期ではあるがさすがに身体の故障を訴える年齢であることを一同自覚する一時であった。

今年、小久弘雄君の熟練の手に盛り上がり、母校の共学化についても活発な論議が行われ、青春時代の覇気衰えずの同期会ならではの懐かし

くも賑やかな集まりであった。

益田君(福島在住)の労作である創成随想集2号が配布され3号の投稿が呼びかけられた。元気な再会を期して午後七時散会。

平成十九年度高31回生同期会(予定)  
日時 平成十九年五月十二日(土)十八時  
会場 仙台ホテル  
会費 六千円  
連絡先 遠藤吉夫  
(勤務先仙台二高)  
メール yoshi0\_3625@sen2-h.myswan.ne.jp  
(電話・FAXは同窓会直通)



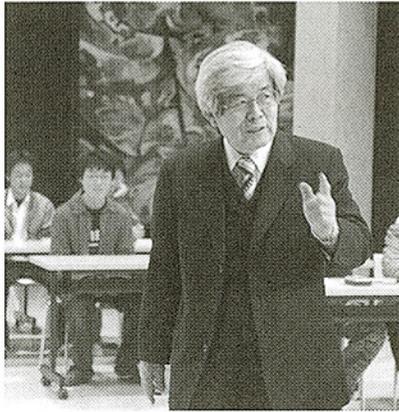
# 会員短信

## 『養老孟司氏の オーサービジット』

黒澤 幸治（高43回）

二高に赴任して早二年が経ち、昨年度は一学年担任として後輩に直接関わらせていただきました。更に幸運なことに養老孟司氏の来校という千載一遇の機会にも恵まれましたので、この場をお借りしてご報告致します。

きっかけはある生徒の積極的な申し出でした。五月、朝日新聞紙面にて講師派遣先の募集を見つけ、新聞社に内容を問い合わせ、クラスで相談、色紙に寄せ書きをして応募すると、八月、採用決定の連絡



澤先生の講演、ノーベル賞フォーラムとあったことがありました。今回も稀有な機会ではありましたが、「二高だから」という気がしない訳でもありません。しかしながら、応募から当日までの一連の出来事を、教員主導に

が入り、即刻養老氏の著書を買集め、勉強してから当日の十一月十六日を迎えました。会場は北陵館。まずは生徒が「ヨーシ！」と声を轟かすと、雰囲気を感じてか、養老氏は「俺ばっかり話すのも嫌だからさ、今日は質問に答える形で進めようよ。」と切り返し、生徒が繰り出す様々な質問に氏が答えるという形でおよそ二時間、氏の機智に富んだ回答に生徒は目を輝かせて聞き入っております。

更に詳しい内容は朝日新聞社ホームページ (<http://www.w.authorvisit.jp/index.html>) でご覧頂けます。ここでは別の角度からお話を続けたいと思います。二高は恵まれた学校です。私の学生時代も現同窓会長西

ならず生徒が積極的に取組んだという点では、二高生の実行力を再確認することができました。そして、養老氏が「骨のある生徒達だった。」と帰路の新幹線の中で語っていたと耳にした時、生徒達に敬意すら感じずにはいられませんでした。

今後このような機会が到来することを願ってやみません。同窓の方々のご支援をお願い申し上げて、報告を終わりたいと思います。

## 二中創設時の 学校教育方針と環境 佐久間博信（中40回）

学校創設の一般的目的は子弟の教育、これに時代の要求が加わることは既に述べた。二中の校風は創設以来の校長教員の性格と指導によるところが大きい。特に初代、二代校長が儒教や哲学の造詣が深く教育方針は明治三十七年の教育勅語の趣旨により服従、協同、独立の三精神を基礎として校則を作った。校則の基

本に服従、協同、独立の精神を「国家有用の人材となるよう教育し、勉強や修養するにあり」とし、教育の目的に固

家に対し、その本分を尽くす人を育成するとした。この学校教育と二中生の校風を示す為、校章が明治二十六年四月、二代校長笹倉新治の意向を強く採用して作られた。校章は太陽の八鋒の光芝に正義、自由、剛健、質実、友愛、自治を象徴させたもので日露戦争直前にしては極めて斬新な表現であったと思う。

私の二中在校は昭和十年から十四年七ヶ月（五年中途で進学）、すなわち日支事変（現在は一部で日中戦争とも言う、国際法では戦争とは当時国が宣戦の布告を行う）の最中で愛国運動の強い時であった。

このような時代には、国民の心を戦争に勝つために集中させる政策がとられる。このため物資不足や困苦に耐える忍耐、団結、犠牲的精神、愛国心などが要求される。日露戦争直前の明治三十六年四月の時代背景を考えると、この校章と校則を定めた笹倉校長以下の教職員と宮城県当局の勇氣に感謝の念を捧げたい。

前述の如く私の在校中は、質実剛健と正義が強調されてきた。私の叔父達の時代（後述）すなわち大正時代後期よ

り昭和初期の時代は自治、自由、平和が謳歌された。しかし、いずれの時代も世相が右に傾けば校風が矯正し、左に過ぎれば伝統がこれを修正してきた。

二中高生は在校中に学校の創立以来の校風と伝統、そして学校の教育、世間の期待という目に見えぬ圧力が励みになり、立派な人間として育ってきた。

すなわち、優れた学力と能力を学校で与えられ、卒業生と在校生が一般他校より平均的に知性が高く、その雰囲気と環境の中で自らも努力する気力が与えられさらに向上する。これが二中高が仙台にて優秀校と言われる基礎をつくったのである。

世相変動の中で二高の伝統は続けられたか  
日本が平和な時代と、戦争の時代で、国家・政府はその組織と安全を維持するため国民全般に要望するものはその時代により大きく異なります。国民を教育指導する学校は、その創立時の目的方針により異なる」と前述しました。しかし官営、国営の学校は、政府

し

地方自治体の考え方で教育の指導の軌道が変わる場合がある。世界の学校も時代の流れ、権力者の意向により教育方針が大なり小なり変更された例が少なくない。しかし永年の伝統と校風を持つ学校は再び先に戻った例もある。

教育指導は、将来において国家を自治体を維持し、指導する人々を選ぶ国民と選ばれる人、指導者の素質教養を育てる。校風と伝統は一朝一夕に出来ない。しかし破壊と崩壊は一瞬である。私事にわたるり恐縮であるが、私の一族・親族四代、二中・二高卒約八十名になる。小学生時代から一族の同窓生から二中二高の伝統の感化を受けて育ったといえる。学校は学問と知識を教えると共に、優れた学校は人間の木質と教養、そして日本と世界に有為な人となる夢を与えることを子供心に知ったのである。私の親族の多くは前大戦に大なり小なり関係し、あるいは影響を受けたがすべて戦後の復興再建に関与し努力している。この多くの親族を見る限り母校の与えた教育、環境、そして目にみえない二中・二高出身という影

響力はその人々に一生に亘り大きい力となっている。

(筆者・佐久間博信氏は本年四月逝去され、この原稿は遺稿となる。ご遺族のお許しを頂き掲載いたします。)

### 「私の一生」続編

真舟 正夫 (中42回)

職場に戻って班長の渡辺利玄一佐に前述の報告をした所「こっちは適当にやればいからそっちの方を先にやれ」といわれた。これがあとで信用第一、因果は巡ることになった。すぐうちのタイプリストに仕事を頼んで、私が書いた原稿を渡し全陸・海・空の司令あて連盟会長防衛局長名で空手部の有無、及び人員数の回答を至急願いたい旨の文書を打ってもらい発送した。受け取った司令たちは公文書と間違えたらしく公文書で回答してきた。(これは私のお茶目)なんと七〇支部約六千名が加盟することがわかった。このあたりからフリーパスで毎日のように官房長になっていた会長への報告、打合せをやっていたが決して「虎の威を被た狐」の振る舞いはしなかつ

た。往々にしてありがちであるが礼に始まり礼に終わる性根がそうさせたのかも知れない。関連があつて少し脱線するが、ある日会長との打合せ中、上司の第三部長天野良英将補が入ってきて何か報告をしようとした時、遠慮して話を打ち切って立ち上がるうとした瞬間、官房長は「君は話を続けなさい」といい、第三部長には「今この人と話中なのでその椅子に座って待たたまえ」と部長は三〇分待った。驚いたのは私でいかにシビリアンリードが徹底しているかわかり、私が望む本分が空手道を推進することで役目を果たしていることを知ったのである。見る人の目は鋭く、あとで天野陸将は陸幕長となり、加藤陽三事務次官になった時制服の最前線議長となったのは天野良英陸将であった。このような事が導火線となつたかは誰も知らない。知っているのは加藤、天野、私の三人である。

昭和三十三年四月、市ヶ谷大ホールで第一回大会は流派もルールも違うので演武会実施としそのあとで司令、キャプテン(支部長も含む)全員

集合の上、会食しながら来年からやる第二回選手権大会のルールをきめることとする。審判員は初めての理由から連盟本部に任せることとし、終つたあと協議して選抜するものとす。それら一切は(宿泊会食、準備及び通知する)本部の責任として事務局長が行う。

大会当日は会長加藤陽三官房長の大会開会宣言、祝辞、続いて事務局長、真舟事務官、全自衛隊空手道連盟結成趣旨説明を行うこととすると文書に書いて会長に右企画提案書を手渡した。会長はこれを一読して承知したといわれたがこのことだけで庁内は動き始めた。大体、私はお祭り、御神輿かつぎが好きな方と同様に人を集めてはワイのワイのと楽しく過ごす質ですのでわりとスムーズに事は運んだ。設備万端一人でやるのだから大変だったが、思ったことを話せるチャンスがやっときた事を思えば五十そこそこで亡くなった両親の言葉を思い出さざるをえなかった。

月日の経つのは早く、第二回大会から選手権大会となり、現在も連盟は続いていると聞く。私は全自空連参与、空手道八段として空手道名鑑に名をとどめている。私は審判などをやって勸奨退官までやり通した。

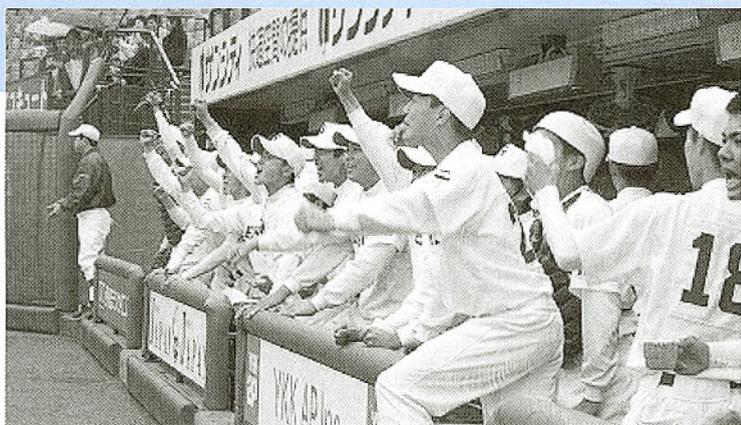
勸奨退官について  
まさかこのようなことを國が認め実現するとは夢にだに思わなかった。國が調査し選考した結果の内示でありこれ程の完璧なものではなかった。

この件は私個人のことでもあるし体調を崩し入院中であつたし内示を有難く受けもしたが家族会議の結果、右理由で辞退させていただいた。幕を引き終わり私の役目はもう済んだと己を知ったからである。私が今までやってきたことを認め良い夢を見せて頂いただけでもう充分ともろもろの妄想をパツときった。現在このことが正解だったと思う。入院中毎日見舞いに来てくれた妻と娘が地位や名譽よりも、いのちが大事といってくれた言葉が私を救ったのである。

去る五月十三日、戦後六十一回目となる対仙台一高硬式野球定期戦が、仙台市宮城野区のフルキャストスタジアム宮城で開催されました。当日は、前夜からの雨が断続的に降り続く肌寒い気候にもかかわらず、現役生との応援団は言うに及ばず、各地から多数の同窓生が詰めかけ、伝統の一戦に熱い声援を送ってくれました。



# 熱闘!! 第61回硬式野球定期戦



今年の定期戦は、本校の立場としては、応援団幹部の不在、男子校最後の一戦等、さまざまな形容句の付く試合となりました。特に、応援団リーダーの不在については、これまでの定期戦において特色ともなっていた両校の応援合戦にどんな影響を及ぼすのかとさまざまな懸念が取りざたされましたが、PR行進や当日の球場前デモンストレーションは中止となったものの、試

合が始まれば、いつもとは趣は異なるものの、応援委員会の有志諸君や生徒会執行部のリードのもと、熱い応援が繰り広げられました。試合は、立ち上がり一高に一点を先制されたものの、三回表走者二人をおいて、二番の高橋が走者一掃のセンターオーバーの二塁打で逆転、先発大野は、苦しみながらも要所を締め、二対一とリードする形で前半を折り返しました。一高を突き放すチャンス何度か手にしながらもののできなかった二高は、六回表に待望の追加点を得て、三対一と引き離しにかかりましたが、その裏、敵失も

## 三部定期戦連覇 軟式野球定期戦結果速報

今年度は硬式野球定期戦の翌週、五月二十日に行われました。各部実力を発揮し、大差をつけて連覇を成し遂げました。

### 試合結果

バレーボール	二高 3-0	一高	勝利
柔道	二高 2人残し	一高	勝利
バスケットボール	二高 82-43	一高	勝利
軟式野球	二高 8-1	一高	勝利

高の攻撃を迎えました。この回先頭打者に長打を許すと後続にも責め立てられ、三点を献上しサヨナラ負けを喫しました。通算成績は、二高の六十六勝六十敗二分、優勝回数共に二十六回(両校優勝九回)となりました。多くの皆さんの期待に応えることができず大変申し訳ありませんでした。心強い声援を最後まで送って下さいました皆様にごこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。(野球部長・高三十二回和賀)

## 平成18年度 大学入試合格者数

## 国立大学

大学名	計	現役生	浪人生	
帯広畜産大	1	1	0	
北海道大	12	9	3	
弘前大	1	0	1	
岩手大	3	1	2	
東	文	5	4	1
	法	9	8	1
	経	18	8	10
	教	3	1	2
	理	8	7	1
北	工	32	17	15
	医/医	12	4	8
	医/保	0	0	0
	歯	4	1	3
大	薬	5	1	4
	農	7	4	3
	小計	103	55	48

大学名	計	現役生	浪人生	
宮城教育大	5	4	1	
秋田大	5	1	4	
山形大	11	7	4	
福島大	2	1	1	
茨城大	1	0	1	
筑波大	3	2	1	
埼玉大	4	3	1	
千葉大	2	2	0	
電気通信大	2	1	1	
東	文Ⅰ	3	2	1
	文Ⅱ	0	0	0
	文Ⅲ	3	1	2
京	理Ⅰ	5	1	4
	理Ⅱ	4	3	1
	理Ⅲ	1	1	0
大	小計	16	8	8

大学名	計	現役生	浪人生
東京外語大	2	2	0
東京学芸大	4	2	2
東京農工大	3	2	1
一橋大	6	3	3
横浜国立大	7	4	3
新潟大	4	1	3
山梨大	1	0	1
滋賀大	1	0	1
京都大	4	2	2
京都工芸繊維大	1	1	0
大阪大	2	2	0
佐賀大	1	0	1
宮崎大	1	1	0
国立大学合計	208	115	93

## 私立大学

大学名	計	現役生	浪人生
札幌学院大	1	0	1
岩手医大	2	1	1
仙台大	1	0	1
東北学院大	11	2	9
東北工業大	1	0	1
東北福祉大	1	0	1
東北薬大	7	0	7
自治医大	1	0	1
青山学院大	5	1	4
共立薬大	1	0	1
杏林大	1	0	1
慶應義塾大	21	6	15
國学院大	3	0	3
駒沢大	1	0	1
芝浦工業大	6	0	6
順天堂大	1	0	1
上智大	1	0	1
昭和薬大	2	0	2
成蹊大	3	0	3
専修大	1	0	1
中央大	42	6	36
東海大	1	1	0

大学名	計	現役生	浪人生
東京医大	1	0	1
東京慈恵医科大	1	1	0
東京電機大	2	1	1
東京農業大	1	0	1
東京薬科大	2	1	1
東京理科大	48	8	40
東邦大	1	0	1
日本大	13	0	13
日本医大	3	0	3
日本獣医畜産大	1	1	0
法政大	11	1	10
明治大	20	1	19
立教大	5	0	5
早稲田大	32	3	29
麻布大	1	1	0
中京大	4	4	0
豊田工大	1	0	1
同志社大	4	2	2
立命館大	12	3	9
龍谷大	2	0	2
関西大	1	0	1
近畿大	1	0	1
私立大合計	281	44	237

## 公立大学

大学名	計	現役生	浪人生
宮城大	3	2	1
高崎経済大	2	1	1
首都大	4	0	4
横浜市立大	2	1	1
都留文科大	1	1	0
岐阜薬大	1	0	1
大阪市立大	1	0	1
公立大学合計	14	5	9

## 大学校

大学名	計	現役生	浪人生
防衛大学校	2		2
防衛医科大学校	2		2
大学校合計	4		4



# 今春の人事異動

## ▼転任の先生方▲

日下 毅 教諭(地歴公民) 平成元年 高橋 美紀 主事 (新任)

佐伯 聖一 教諭(数学) 平成5年 高橋 見勇殿 中28回

石井 康宏 教諭(保健体育) 平成10年 藤岡 和男殿 中25回

社内 美憲 教諭(理科) 平成12年 安中 仁殿 中28回

浅野由希子 主事 平成13年 斎藤 清隆殿 高32回

我妻 幹男 主事 平成14年 鈴木 吉昭殿 高7回

(秋田県大館国際情報学院) 平成15年 小室 雅信殿 高12回

▼退任の先生方▲ 平成15年 大内 克夫殿 高7回

鈴木早由利 養護教諭 平成16年 二野 誠一殿 高7回

(千葉県印旛高に採用) 平成17年 成瀬基次郎殿 高1回

▼着任の先生方▲ 平成17年 矢部 功彦殿 中32回

小村田達也 教諭(地歴公民) 12/12 鈴木 信雄殿 中31回

(白石女子高) 1/ 佐藤 公通殿 高7回

南雲 芳則 教諭(保健体育) 1/15 金山 哲三殿 中43回

飛鳥 貴 教諭(数学) 1/31 磯貝 太郎殿 中40回

渡辺 尚 教諭(理科) 4/4 服部 澄男殿 中43回

阿部 光宣 主査 6/11 馬場 幸彦殿 中43回

(仙台西高) 6/12 安達 武殿 中37回

## 計 報

高橋 美紀 主事 (新任)

6/16 今泉 紘一殿 高11回

6/30 沢野 信行殿 高14回

7/3 庄司 俊輝殿 中41回

7/6 高橋 寿郎殿 中43回

7/20 水野 隆殿 中37回

8/25 目黒 孝殿 高10回

8/26 大森 重男殿 高4回

8/30 三上 寛殿 中44回

9/1 佐々木公庸殿 中33回

10/7 富沢 慶殿 中43回

10/26 小室 光一殿 中32回

11/5 遠藤 孝一殿 中31回

11/23 佐々木一之殿 中46回

6/30 信行殿 高14回

7/3 庄司 俊輝殿 中41回

7/6 高橋 寿郎殿 中43回

7/20 水野 隆殿 中37回

8/25 目黒 孝殿 高10回

8/26 大森 重男殿 高4回

8/30 三上 寛殿 中44回

9/1 佐々木公庸殿 中33回

10/7 富沢 慶殿 中43回

10/26 小室 光一殿 中32回

11/5 遠藤 孝一殿 中31回

11/23 佐々木一之殿 中46回

4/26 佐久間博信殿 中40回

4/15 工藤佑治郎殿 中46回

4/12 杉原 義夫殿 中46回

3/23 板垣 博雄殿 高23回

3/22 佐藤 芳司殿 中46回

1/23 斎藤 紀殿 中44回

1/20 奈良坂重樹殿 高10回

1/14 千田 勲殿 中47回

平成18年 12/22 杉原 忠一殿 中43回

12/7 塚本 健治殿 中44回

12/4 太田 守人殿 高11回

11/29 千葉 哲雄殿 高2回

6/30 沢野 信行殿 高14回

7/3 庄司 俊輝殿 中41回

7/6 高橋 寿郎殿 中43回

7/20 水野 隆殿 中37回

## 年会費納入にご協力を 郵便払込に一本化

同窓会年会費の払込について同窓諸兄のご協力をお願いいたします。払込方法は今年は郵便局のみといたします。

昨年、コンビニ活用を試みまして25%のご利用がございましたが、今年はシステム変更があり、大手コンビニの一部に現在対応が決定していないところがあります。トラブルを未然に避けたいので今年は使用いたしません。来年度迄の研究課題といたします。

昨年度は15,000名に送付して、3,001名の納入でした。(前年比90%)  
本年度も会費納入について格別のご協力をお願いします。

## 編集後記

校舎にエレベーター、自動ドア、スロープが設置されました。さらにこれから女子トイレと更衣室増設のための工事が行われます。  
築二十年を超えた現校舎がここにきて姿を変えつつあります。  
しかし在校生の取り組みはこれまでと変わりません。部活動においては早速将棋部、写真部が全国大会(京都)に出場しています。運動部も高総体を目前に熱のこもった活動を展開している真っ最中です。  
在校生が、これまで以上に自由になお一層の御協力、御指導を皆様お願いし、本号の結びにかえさせて頂きます。  
(高40回 櫻井 知大)

## 会員短信の原稿募集

会員短信のご投稿を歓迎いたします。  
春秋2回発行の会報に掲載いたします。  
秋季会報の締切り 十月末日  
春季会報の締切り 四月末日  
五〇〇字以内、写真掲載可  
氏名回期明記 送付先宛先  
表紙題字下に掲載  
同窓会事務局  
秋季号テーマ「伝統について」  
その他のテーマも可です。